



指揮

北原幸男

Conductor : Yukio Kitahara

尺八奏者二代目北原篁山の長男として生まれる。桐朋学園大学卒業後、NHK交響楽団指揮研究員となる。秋山和慶、尾高忠明、小澤征爾、ブジャーマ、ピーチニクの各氏に師事。ブラハの春国際コンクール第3位入賞。インスブルック・チロル歌劇場専任指揮者、ドイツ・アーヘン市立歌劇場音楽総監督などを歴任し、ブラハ、ハノーファー等の歌劇場、リンツ・ブルックナー管、北ドイツ響等世界各地の40以上のオペラハウス、オーケストラに客演。国内でもNHK交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルをはじめ多くのオーケストラに招かれるとともに、新国立劇場、びわ湖ホール、関西二期会などのオペラ公演を指揮し高い評価を得ている。NHK交響楽団「ショスタコーヴィチ：交響曲第11番」、東京都交響楽団「ショスタコーヴィチ：交響曲第5番」他多数のCDをリリース。グローバル音楽奨励賞、下総院一音楽賞受賞。2008年より天皇皇后両陛下主宰の国賓を招いての宮中晩餐会、午餐会、洋楽演奏会の指揮者を務める。現在、宮内庁式部職楽部指揮者、武蔵野音楽大学教授。埼玉県富士見市文化芸術アドバイザー。趣味は水族館めぐり。



ピアノ

務川慧悟

Piano : MUKAWA Keigo

東京藝術大学1年在学中の2012年、第81回日本音楽コンクール第1位受賞を機に本格的な演奏活動始める。2014年パリ国立高等音楽院に審査員満場一致の首席で合格し渡仏。パリ国立高等音楽院、第2課程ピアノ科、室内楽科を修了し、第3課程ピアノ科(Diplôme d'Artiste Interprète)、同音楽院フォルテピアノ科に在籍。2019年ロン＝ティボー＝クレ-span国際コンクールにて第2位入賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクール第3位入賞など数々の国際コンクールで入賞を果たす。2017年シャネル・ピグマリオン・デイズのアーティストに選出され「ラヴェルピアノ作品全曲演奏」をテーマに6回のリサイタルを開催。日本各地はもちろん、フランス、スイス、上海、ラトビア、イタリアにて演奏会を開催。また演奏のみならず「らららクラシック」などテレビやラジオへの出演、「ピアノの本」やヤマハHPにてコラムを連載するなど、多方面で活動している。これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ロレーヌ国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団他と共演。フランク・ブラレイ、上田晴子、ジャン・シュレム、パトリック・コーエン、横山幸雄、青柳晋の各氏に師事。

務川慧悟Official Site <https://keigomukawa.com/>

東京21世紀管弦楽団

Tokyo 21c Philharmonic

音楽を通して、多くの人たちと手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して、演奏活動を進めていくオーケストラ。これまでに2019年オスカー新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップの日本公演、オペラ界のビッグスター、テノールのファン・ディエゴ・フローレスの日本公演に出演し、好評を博した。浮ヶ谷孝夫(ブランデンブルク国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者)を音楽監督に迎え、2020年度は東京芸術劇場でベートーヴェンやブラームスといった重厚なドイツ音楽で定期演奏会を行い高評を博した。このほかバレエやポップスにも出演するなど活動の場を広げている。

